

しろくま通信



先週からお彼岸について書いています。

人間の住むこの世はこちらの岸で、「此岸」（しがん）と言い、煩惱が多く、問題山積みの地です。「此岸」を、サンスクリット語で「サハー」と言います。これを中国の漢訳で「娑婆」と言い、日本に来て「しゃば」となりました。この世のことを「しゃば」と言うのは、ここから来ています。

「此岸には幸せになれないからいつか彼岸に渡る」ということが、仏教のテーマと言えます。では、どうやって渡るのでしょうか。それは仏の教えを実践して、渡ることになります。これを波羅蜜（はらみつ）と言い、6つあります。

- ・布施（ふせ）ほどこすこと
- ・持戒（じかい）戒を守って生きること
- ・忍辱（にんにく）堪え忍ぶこと
- ・精進（しょうじん）雑念を交えず努力すること
- ・禅定（ぜんじょう）座禅をし、心を落ち着かせること
- ・智慧（ちえ）波羅蜜の実践によって得られる智慧のこと



仏の智慧をいただいて此岸から彼岸に渡ります。ここでいう「智慧」は仏の教えのことで日頃使っている「知恵」は生きていく上での学問、知識、本で読んだ事、人から聞いた事、役に立つ知識等のことで別物です。



前回のしろくま通信はホームページで
観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」

ですぐに検索！！

